

## アンビエンテ出展報告（所感）

今回で通算4回目となる Ambiente への出展となった。

地場産業振興センターブースでは、例年同様、新規出展者と継続出展者が概ね半数ずつという構成であった。

昨年の出展時、多くの来場者やバイヤーから具体的な課題や改善点を提示された。今回はそれらに対する「答え合わせ」の機会と位置付けて臨んだが、総じて好意的な評価を得ることができ、一定の手応えを感じた。

一方で、欧州市場全体の景況感は依然として厳しい状況にある印象を受けた。その影響かどうかは定かではないが、来場者数は例年より少ないように感じられた（あくまで体感値）。通常は初日から3日目にかけて来場のピークを迎えるが、今回は際立った山場は見られなかった。

しかしながら、継続出展を重ねることで、来場者とのコミュニケーションは着実に深まりつつある。単発の商談ではなく、「継続」を前提とした関係構築が可能になってきたことは大きな成果である。

今回の出展を通じて、ようやく海外展開のスタート地点に近づいてきた実感がある。本当の意味での挑戦は、次回以降から始まるのかもしれない。

